

感染制御部の取り組み

1. 感染症治療への関与



最適な感染症治療をおこなうためにICUや救急部と共にカンファレンスを行い、有効性を高めると共に耐性菌を防止する治療に努めています。

感染制御部の役割

病院内感染を防止する

患者さんを感染から守る

医療従事者を感染から守る

2. 病院感染対策巡視



医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師を含む多職種で毎週、病院の各部署を巡視し感染対策や環境整備をチェックし改善しています。

3. 第一種感染症病棟の管理



エボラ出血熱の疑い患者が群馬県で発生したら県内唯一の第一種感染症病床を持つ群馬大学病院に入院します。その準備として群馬県、前橋市とともにシミュレーションを行っています。

4. 病院職員ワクチン接種

麻疹・風疹・水痘・ムンプスなどワクチンで防ぐことができる病気を病院内で広げないために病院職員のワクチン接種を積極的に行っています。国の指針を満たす職員が昨年15%から85%へと増加しました。